

読み聞かせグループを立ち上げましょう！

ある新聞記事によれば、読み聞かせ中の脳の働きを調べる実験が日本大学大学院総合科学研究科の泰羅雅登教授を中心とする研究チームによって行われ、この実験によって、初めて読み聞かせの効果が科学的に実証されたそうです。

その実験の結果、読み聞かせ中、読み手である母親の脳では前頭前野（ぜんとうぜんや）が活発に働き、聞き手である子どもの脳では大脳辺縁系（だいのうへんえんけい）が活発に働いていることが分かったということです。

前頭前野は、思考や創造力、コミュニケーション、感情のコントロールといった機能をつかさどり、大脳辺縁系は喜怒哀楽を生み出し、その感情に基づいて基本的な行動を決めている部分だそうです。

泰羅教授は大脳辺縁系を「心の脳」と呼び、「健やかに育っていくためには大脳辺縁系がよい働きを受け、情動が豊かになることが大切」と述べ、「子どもは読み聞かせを通じて、豊かな感情、情動がわき上がっているのだろう。脳は使うことで発達する。読み聞かせは、結果として子どもの豊かな感情を養い、『心の脳』が育つために役立っているのだろう。」と分析しています。

一方、母親は一人で音読をしているときよりも子どもを相手に読んでいるときの方が前頭前野の活動がより活発で、特にコミュニケーションをとっているときによく活動する部分が働いていることが分かりました。泰羅教授は、「子どもも大人も、ともに楽しめることが読み聞かせの良さ。親が子どもの表情を見ながら、そして気持ちを考えながら話す言葉には、大きな力があるのだと思う。読み聞かせは親子の絆をつくる良い機会となるでしょう。」とアドバイスしています。

また、別の研究では、父親が絵本を読み聞かせてくれる機会は少ないため、その特別感から、父親の読み聞かせに子どもが集中しやすいという結果も分かったというこ

とです。それだけでなく、男性が読み聞かせをする時は、絵本について抽象的な質問をする傾向が見られたそうです。例えば、

母親が絵本について

「りんごはいくつある？」と明確な正解がある質問をするのに対し、父親は「見て、ハシゴだよ。こ

の間、トラックの上にハシゴが積まれていたね。」といった、より想像力がかきたてられ、会話がふくらむような質問をするそうです。単語ひとつで答えられる質問をする母親に対し、父親からの質問はより考えをめぐらせ、それを説明するような答えを求めるものです。このため、結果的に言語能力の発達にプラスの影響を及ぼしているのではと言われています。さあ、いよいよ父親の出番ですね。

少々、前置きが長くなりました。5月の参観日の際に保護者による読み聞かせを実施したい旨のお話をしました。その後、個別にお話をさせていただいたところ、かなりの数の保護者が前向きに考えていただいていると実感したところです。

先日、保護者の皆様に読み聞かせボランティアへの参加を呼びかけるプリントを配付させてもらいました。ぜひ、積極的に応募してください。地域の方で読み聞かせに関心がある方がいらっしゃいましたら、お声かけをお願いしたいと思います。

田植えをしました。

今年も、長〇〇司さんの水田をお借りして米作りの体験をさせていただきます。



田植えに先立ち、代かきを兼ねて1・2年生が泥リンピックを行いました。5月30日火曜日の宮崎日日新聞にその時の様子が記事として掲載されています。最初は、おそるおそる水田に入った子どもたちも、時間が経つにつれて大胆になっていき、最後は予想どおりどろ

んこまみれになっていました。

さて、田植え初体験の1年生の2、3名を除いて、随分と慣れているはずの田植えと思いきや、やはり一年ぶりのことでの、なかなか思うように進みませんでした。それでも、時間を追うごとに上手に手際よく植え付けができるようになり、時間どおり田植えを終えました。



お手伝いくださった皆様には、心より感謝申し上げます。

ユリノキの花が咲いています。

学校のランチハウス横のデッキから何気なく木を眺めていると、「うん? 何かでっかい花らしきものが咲いている!! しかも、結構な数だ。」樹木の高さが高い上に、花が真上を向いて咲いているので下からだと気付きにくいのですが、大きくて美しい花です。さて、何という花でしょう?



調べてみると、正体は「ユリノキ」という名前でした。今は、便利ですね。インターネットで特徴を入力して検索すると、大した時間もかからずさまざまな情報が手に入ります。花はユリというよりかはチューリップという感じです。葉っぱが職人の「半纏(はんてん)」の形に似ているから「ハンテンボク」とも言われるようです。

奉仕作業ありがとうございました。

6月5日(月)は、本年度初めての奉仕作業が行われました。天気の関係で日延べしましたが、お陰様ですばらしい作業日和に恵まれました。縁起を担いでいるわけではありませんが、地域住民、保護者、児童すべての皆様の日頃の精進の賜物ではないかと思っているところです。当日は、多くの方々に集まつていただき、時間いっぱい環境整備に汗を流していただきました。学校がきれいになったことで、子ども達も気



分を新たに学習活動に取り組んでくれることだと思います。本当にありがとうございました。

子どもたちの健闘を称えます。

◇宮崎日日新聞「かりぼし往来」掲載

4年 ○○ ○○ さん

◇宮日こども新聞「宮日文芸」掲載

6年 ○○ ○○ さん

◇県スポーツ少年団西臼杵郡ブロック大会

バレーボール競技女子Aブロック

2位 マジカルキッズ

剣道競技小学生男子の部

1位 道心会

教育に関する名言

一日の計は朝に在り、一年の計は春に在り、一生の計は少壮の時に在り

安井息軒

宮崎県(当時の清武郷)出身の江戸時代の儒学者です。この名言は、息軒が開いた三計塾の「塾記」にある言葉で、「何事も初めのうちが大切である。」ということを教えている言葉です。

おまけ 頭の体操

問題1

※鎌倉学園中入試問題

規則に従って□の中に数字を入れなさい。

① 1、4、9、16、25、□、49

答え

② 1、2、3、5、8、13、□、34、55

答え

問題2

※③だけ、灘中入試問題

規則に従って□の中に漢字を一字ずつ入れなさい。

① 林→村→□→作→昨

答え

② 注→浅→□→□→根

答え

※ 答えがお分かりになられたら、学校まで連絡ください。

坂本小学校の合言葉

あ あかるく
し しんけんに
た たくましく

